

遮光資材の樹上被覆による

りんご「つがる」の日焼け果の発生軽減

りんご研究所

近年、地球温暖化の進行により、りんごの果実に日焼けの発生する頻度が増加しています。日焼け果は、日射による果実の表面温度の上昇と紫外線が要因で発生するとされています。そこで、遮光資材を農薬散布や着色管理の邪魔にならない樹上に被覆して日射の影響を緩和したところ、日焼け果の発生を軽減できることが明らかになりました。

遮光資材の被覆方法



遮光資材
遮光率10~20%
程度の資材
資材費:11~15万円/10a

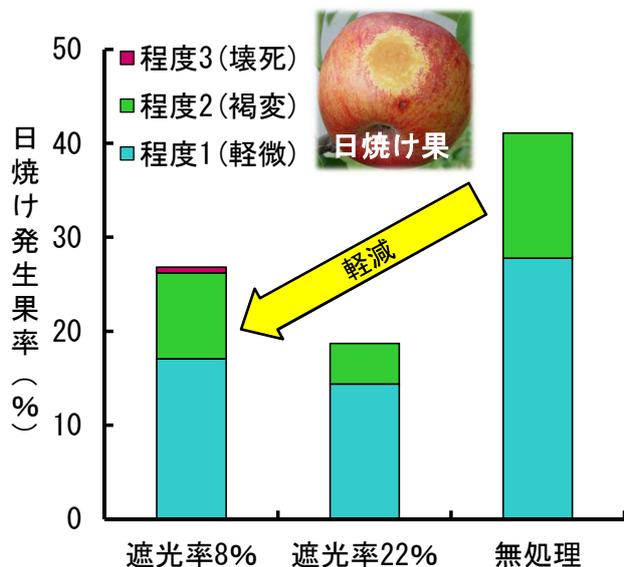
果面温度
2~6℃
抑制

被覆方法
既存の支柱に
紐で結び付け、
樹上に被覆する
作業時間:5.8h/10a/2人

紫外線
30~60%
抑制

被覆方法
8月以降、晴天で最高気温が30℃以上
になる可能性のある期間被覆します

日焼け果の発生軽減効果



収穫果の果実品質

区	着色指数 (1-6)	糖度 (Brix%)
遮光率8%	5.3	14.0
遮光率22%	5.2	13.7
無処理	5.4	13.9

果実品質、花芽形成に影響なく、
日焼け果の発生軽減が可能

利用上の注意点

年により、着色がやや遅れることがあります。

お問い合わせ

りんご研究所 栽培部 (TEL 0172-52-2331)